

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／演習 F24 (Seminars F24)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	小説の語り		
担当者名 (Instructor)	滝口 悠生(TAKIGUCHI YUSHO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	PCW3810	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

小説の読み方の幅と射程を広げること。そのうえで、受講者それぞれが小説の文章に対する自分なりの着眼点や批評性を見つけ、作品の読みや、創作・研究につなげること。

To develop the way of reading fiction. To find your perspective and criticism of the text. To use them to read, write, and research.

#### 授業の内容(Course Contents)

小説の文章は、どのようにはじまり、持続し、終わるのか。  
視点や時制、人称など、いくつかの具体的なポイントをおさえながら、実際に文章を読み、書くことを通して、文章の発生源であるところの語り手、そして動力となるところの語り方について考えます。  
受講者の発表と、発表を受けてのディスカッションを主としますが、具体的な小説作品などを取り上げての講義も適宜行います。  
発表については、教員が指定した作品について、担当箇所を割り当てて精読のうえ、着眼点や考察を示してもらいます。上記の授業のテーマを念頭に、その作品の一文一文、一語一語についてできるかぎり丁寧に、時間をかけて読んだ成果を示してください。

また、実際に散文(小説ではない)を書いてみることにし、そしてそれを全員で読み合う作業を行います。具体的には教室を出て全員で学校周辺を散策し、その記録を文章にしてもらうことを予定しています。同じ時間、同じ場所を歩いた経験が、複数の書き手によって文章という形になる時、そこには自ずとそれぞれの「語り方」が、そしてそれぞれの「語り手」の有り様が現れるはずなのです。

本授業の教員(滝口)は研究者ではなく実作者＝「書き手」なのですが、小説の語りについて考えることは、書くことと読むことの両方から考えることが重要だと思っています。なので、創作に興味があるひと、批評や研究を主眼におくひと、いずれも歓迎します。書くことと読むことが相互に作用し、せめぎ合うような議論、また、それをうながす受講者からの問題提起を期待します。

How does the text of a novel begin, last, and end?

In this course we will think about the narrator and who is the source of the sentence, and the way of narrative which produce text by actually reading and writing in class.

Presentations and discussions by students are the main time.

Lectures will be given as necessary.

Workshop on walk and write be also held. It's an experiment on what records different narrators share at the same time and place.

Students are required to read the given works carefully in the presentation.

Anyone who wants to create, critique, or study literature is welcome.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス、アンケート
2. 講義
3. ワークショップ
4. ワークショップの講評とディスカッション
5. ワークショップの講評とディスカッション
6. 学生による発表
7. 学生による発表
8. 学生による発表
9. 学生による発表
10. 学生による発表

11. 学生による発表
12. 学生による発表
13. 学生による発表
14. 学生による発表

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

※教員や発表担当者の指示があった場合は、当該の作品や資料を読んで授業に臨むことを心がけてください。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

発表内容(35%)/提出物(35%)/授業内での発言、参加度など(30%)

期末レポートは課さないが、ワークショップの課題や、発表の成果としての文章など提出課題はあるのでそのつもりでいてください。

#### テキスト(Textbooks)

授業内で決定、指示する。

#### 参考文献(Readings)

授業内で決定、指示する。

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

※授業予定は適宜変更もありえます。

#### 注意事項(Notice)